

JMS NOTES



「人と医療のあいだに・・・」

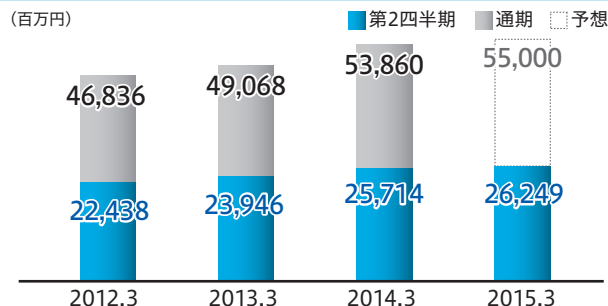
第50期 第2四半期事業のご報告

2014年(平成26年)4月1日～2014年(平成26年)9月30日

JMS
証券コード 7702

売上高

262億49百万円

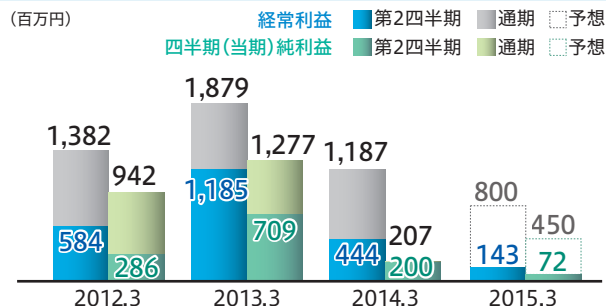


経常利益

四半期(当期)純利益

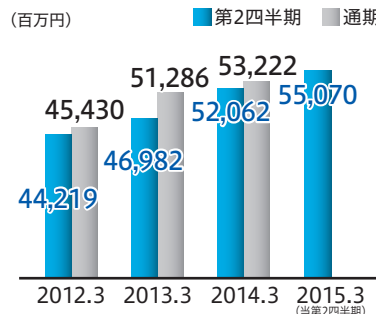
1億43百万円

72百万円



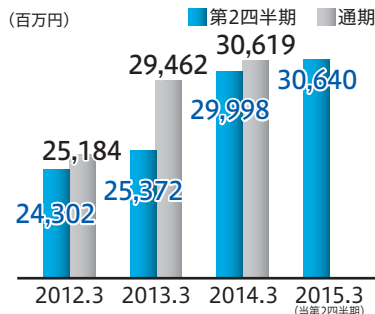
総資産

550億70百万円



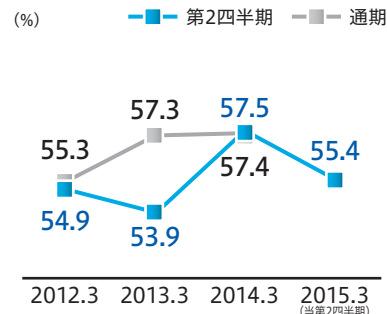
純資産

306億40百万円

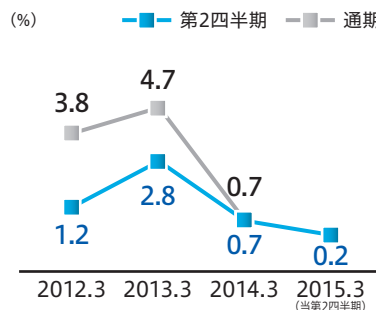


自己資本比率

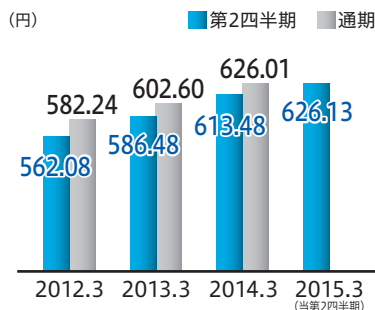
55.4%



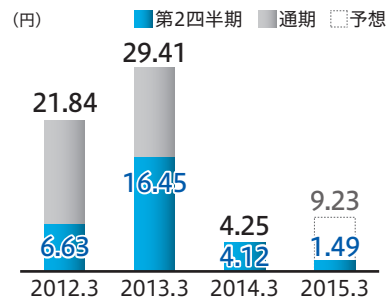
自己資本四半期(当期)純利益率(ROE) 0.2%



1株当たり純資産 626円13銭



1株当たり四半期(当期)純利益 1円49銭



【見通しに関する注意事項】 上記予想は、現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

ここに、当社第50期第2四半期(2014年4月1日から2014年9月30日まで)のJMS NOTESをお届けいたしますので、ご高覧いただきますようお願い申し上げます。

当社グループの業績につきましては、国内においては血液透析装置や人工心肺回路、海外においてはAVF針(血液透析用針)の販売が好調に推移しました。

この結果、当第2四半期の売上高は、円安による為替換算の影響も加わり、前年同四半期に比べ5億34百万円増加の262億49百万円(前年同四半期比2.1%増)となりました。

利益につきましては、販売費及び一般管理費の効率的な運用に努めたものの、国内での償還価格の引き下げの影響を受け、営業利益は46百万円(同76.5%減)となりました。経常利益は、持分法による投資利益を計上したこと等により1億43百万円(同67.8%減)となり、投資有価証券売却益や税金費用等を加減した結果、四半期純利益は72百万円(同63.8%減)と

なりました。

中間配当金につきましては、利益配分に関する基本方針に基づき、1株につき4円とさせていただきます。

当社グループを取り巻く環境は、海外においては、新興国を中心に医療市場の成長が続き、現地及び各国メーカーによる競争も激化しています。また、国内においては、政府の政策と相俟ってヘルスケア分野への新規市場参入の動きが活発化する一方で、少子高齢化の進展、国家財政及び医療保険財政の深刻化を背景に、医療現場を支える観点から診療報酬は引き上げるものの、薬価・材料価格は引き下げ、医療費全体の伸びを抑える医療政策が継続しています。

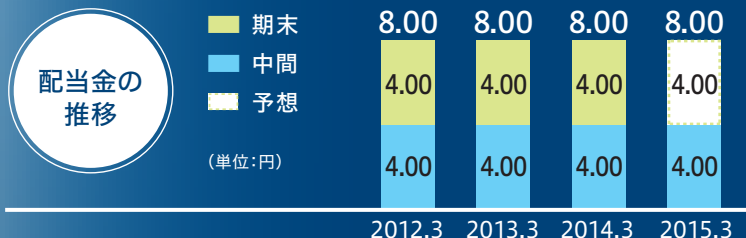
このような環境において、当社グループは、「患者様第一主義」の企業理念に基づき、お客様に感動を与える製品とサービスの提供を目指し、これからも患者様の安心や医療従事者の皆様の負担軽減など、医療環境における安全と効率化に貢献する製品を提供してまいります。

また、創業当初より当社グループは患者様と医療従事者の皆様に役立つ製品・サービスを提供し、皆様からの信頼を築き上げてまいりました。今後さらに成長するためにも、将来に向けた生産拠点の再編・増強を着実に進め、2015年6月の創業50周年の節目を迎えられるようグループ全体で取り組んでまいります。

株主の皆様には、今後とも格別のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2014年12月

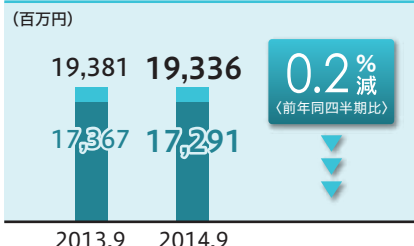
奥窪 宏章
代表取締役社長



所在地別

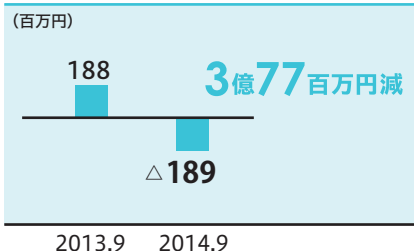
日本

売上高 **193億36百万円**
(外部顧客への売上高 172億91百万円)



血液透析装置や人工心肺回路の販売は好調に推移したものの、人工心肺装置の販売が減少しました。

セグメント利益 **△1億89百万円**

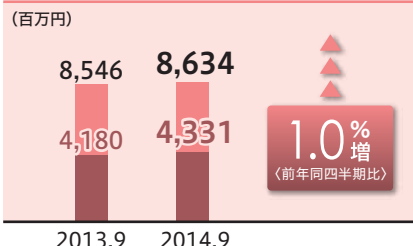


人件費や労務費の低減を図ったものの、償還価格の引き下げなどの影響により損失となりました。

(注)セグメント利益は、経常利益ベースの数値であります。

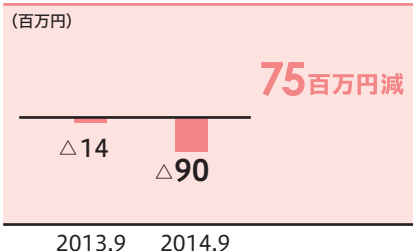
東南アジア

売上高 **86億34百万円**
(外部顧客への売上高 43億31百万円)



欧米向けのAVF針(血液透析用針)の販売が増加しました。

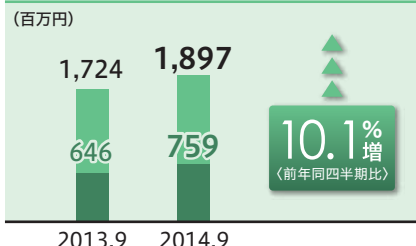
セグメント利益 **△90百万円**



労務費の増加などにより損失となりました。

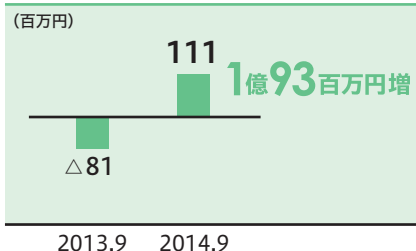
中国

売上高 **18億97百万円**
(外部顧客への売上高 7億59百万円)



欧米向け及び中国国内向けのAVF針の販売が引き続き伸長しました。

セグメント利益 **1億11百万円**



主に中国国内向け販売の増収効果により黒字となりました。

製品紹介

■ AVF針(血液透析用針)

血液透析を行う際に、シャント(動脈と静脈を接合した部位)から血液を体外へ取り出すための針です。



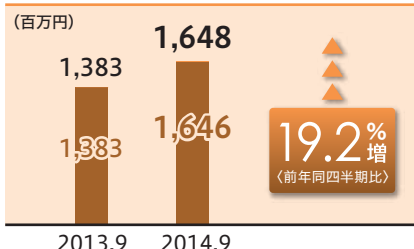
■ 血液透析装置「GC-110N」

血液透析を安全かつ効率的に行うための装置です。人工腎臓用血液回路などの洗浄や血液の脱血/返血など、透析時の複雑な機械操作の大部分を自動化することで、医療の効率化と誤操作防止に貢献します。



ドイツ

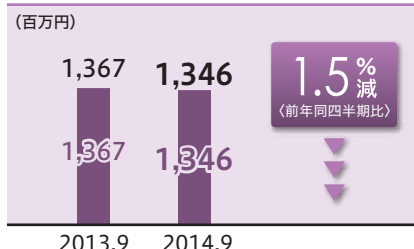
売上高 **16億48百万円**
(外部顧客への売上高 16億46百万円)



EU圏におけるAVF針の販売が好調に推移しました。

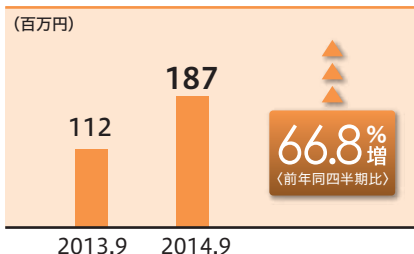
アメリカ

売上高 **13億46百万円**
(外部顧客への売上高 13億46百万円)



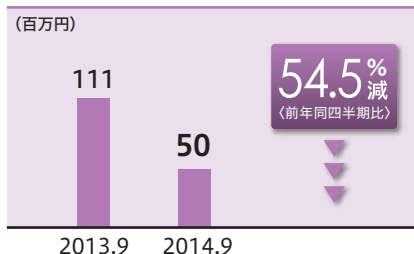
中南米向けの血液バッグの販売が減少しました。

セグメント利益 **1億87百万円**



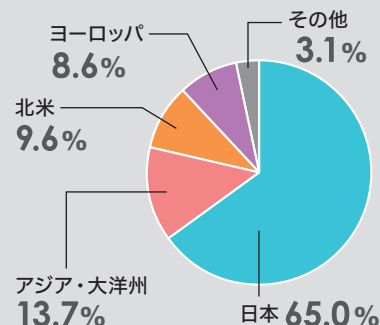
増収に加え、為替による仕入金額の減少により利益が増加しました。

セグメント利益 **50百万円**

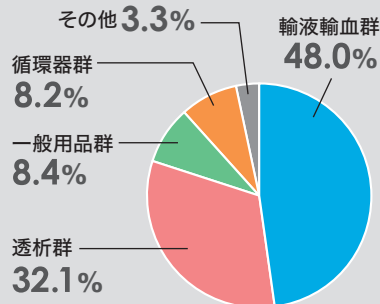


減収の影響に加え、前年同四半期における所有株式の配当金受取が当第2四半期連結累計期間になかったため減少しました。

》》》 地域別売上高構成比



》》》 システム別売上高構成比



輸液輸血群

輸液セット、経腸栄養システム製品、血液バッグ、成分献血用回路、シリンジ(注射筒)、注射針 他

透析群

血液透析装置、人工腎臓用血液回路、AVF針、プレフィルドシリンジ製剤、腹膜透析液 他

一般用品群

医療用手袋、不織布製品 他

循環器群

膜型人工肺、ペースメーカー、人工心臓装置、人工心臓回路、血管造影用・治療用カテーテル 他

■ 血液バッグ

血液の採血、保存、輸血に用いられるバッグです。



■ プレコネクティング心肺回路

さまざまな医療機器とチューブを接続し、事前に回路をセットアップして使います。手術準備に要する手間の解消、誤接続や汚染の防止だけでなく、包材の少量化により廃棄物の量を低減します。



成長するグローバル市場への対応と生産能力の増強に向けて フィリピンに新工場を建設し、出雲工場を増築します。

》》》フィリピン共和国に新たな生産拠点を建設

当社は、アジアや中南米など新興国での医療の需要拡大を視野に、フィリピン共和国に新たな生産拠点を建設し生産体制の増強を図ります。これをもとに、より高いコスト競争力を確保し、事業を発展させて、2020年を目処に約30億円の売上を目指します。

新興国の人々に安全で高品質な医療機器を提供し、また、地域の発展にも貢献します。



【フィリピン新工場の概要】

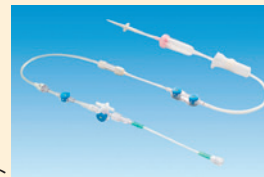
社 名	JMS HEALTHCARE PHL, INC.
所 在 地	フィリピン共和国バタンガス州タナワン市
資 本 金	212百万フィリピン・ペソ(約5億円)
総 投 資 額	約40億円
生 産 品 目	血液バッグ、AVF針(血液透析用針)、輸液セットなど
敷 地 面 積	47,600㎡(延床面積約15,000㎡)
操 業 開 始	2016年春(予定)



血液バッグ



AVF針



輸液セット

column

フィリピン共和国への 進出の背景

現在、フィリピン共和国の政情は安定し、日本とも政治・経済を含め極めて良好な関係にあります。同国は海外からの企業誘致を積極的に進めており、工業団地のインフラの整備や誘致企業に対する優遇制度を設けていることなどから日系企業も多く進出しています。また、英語でコミュニケーションできることや、安定した雇用が見込める点も大きなメリットといえます。

当社はこれまで国内はもとよりアジア4カ国に生産拠点を展開し、世界80以上の国や地域の患者さん、医療従事者の方々に高品質な医療機器を供給してきました。世界の経済発展に伴い、引き続き増大が見込まれる医療機器需要に応じてその成長に貢献するとともに、生産能力の増強及びコスト競争力の向上を図り国内外の事業を拡大していきます。

》》国内需要に対応する出雲工場を増築

2015年末の稼動をめぐにJMSの国内主力工場である出雲工場に第6期棟の増築を行い、生産スペースの拡張に加え設備投資による生産効率化を図ります。増築によりプレフィルドシリンジ製剤関連製品や人工心臓関連製品などの増産を行います。



プレフィルドシリンジ製剤関連製品



人工心臓関連製品



【出雲工場の増築の概要】

所在地	出雲市下古志町
総投資額	約40億円
生産品目	プレフィルドシリンジ製剤関連製品、人工心臓関連製品など
延床面積	約10,700㎡(既存敷地内)
稼動開始	2015年末(予定)

世界の成長市場へのアプローチ

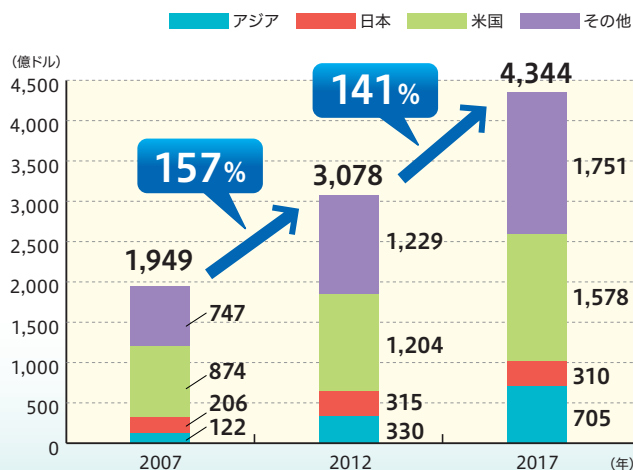
今、世界の医療市場は新興国の発展に合わせて拡大の度を速めています。経済的余裕のある中間層や富裕層の医療ニーズを取り込むために、高品質で安全かつ安心な先進の医療サービスを供給する動きが新興国で顕著になっています。当社はこうした市場の変化を背景に、日本を含めた国際市場における事業をさらに強化し競争力を高めてまいります。

■ 医療マーケットの拡大とその背景

近年、世界の医療及び医療機器市場が急速に成長しています。特に経済発展が著しいBRICs※やアジア、アフリカなど新興国においては、国民所得の向上とともに、医療の重要性が認識され、先進の医療システムの導入、より安全・安心で高品質な医療機器の需要が拡大しています。

※BRICs：ブラジル、ロシア、インド、中国の頭文字をとった造語。

》》 世界の医療機器市場の状況

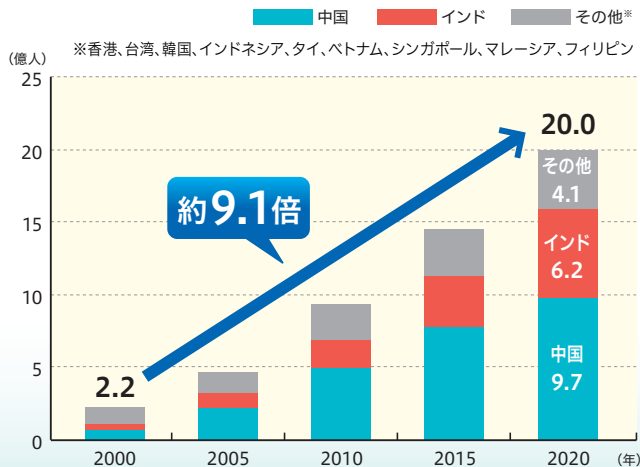


参考：Worldwide Medical Market Forecasts To 2017, Espicom
日本医療機器産業連合会作成『日本の医療機器産業の現状・課題・期待』

■ 成長著しいアジアマーケットへの対応

当社はこれまで成長が見込まれる主要なマーケットとして、アジア地域に注力してきました。経済成長が著しいアジアの国々では生活水準の向上に伴って食生活やライフスタイルなどに変化が生じ、疾病の増加と医療費の上昇が新たな課題として浮上。先進の医療システムをはじめ、医療ニーズの高まりに対応する多様な医療サービスの提供が求められています。

》》 アジア中間層の拡大



(備考) 中間層：世帯年間可処分所得5,000ドル以上35,000ドル未満の所得層
参考：経済産業省通商白書2010より作成

生産拠点を整備し、グループの最適地生産体制を強化

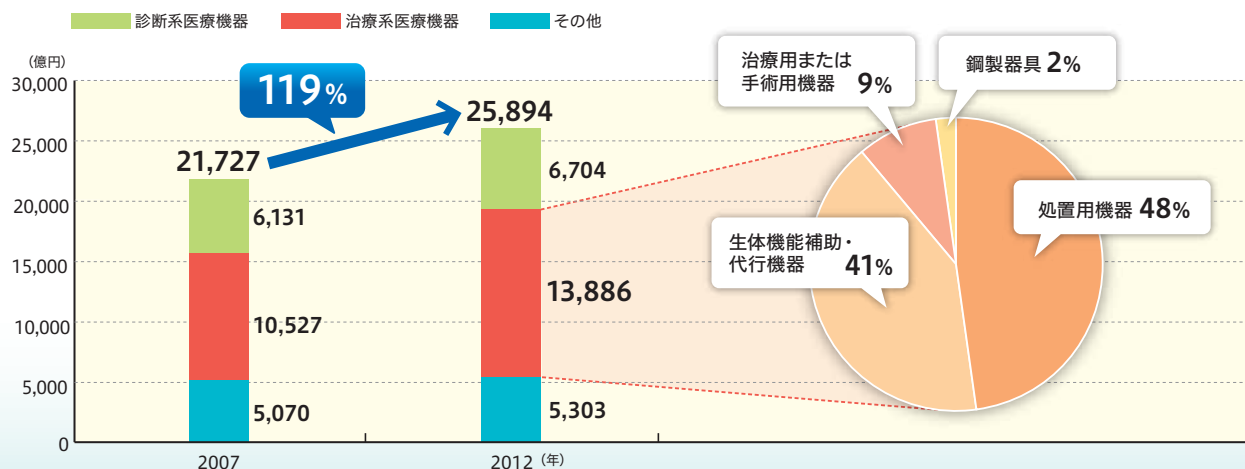
当社は、国内のみならずアジア地域をはじめとする世界の成長市場をターゲットに、さらなる世界最適地生産に向けてJMSグループの生産拠点の整備を進めています。その目的は、各生産拠点の特性を活かしつつ、持てる能力を最大限に発揮できる生産体制の実現です。今後も当社は着実な成長を目指して、国内外の市場に競争力ある製品を供給するとともに、グローバルな事業拡大に取り組んでまいります。

■ 成長路線を歩む日本の医療機器市場

日本の医療機器の市場規模は約2.6兆円で、そのうち治療系医療機器が約53%を占めています。その内訳は、注射針・輸液・輸血セットや各種カテーテルなどの処置用機器が約48%、人工腎臓や人工心肺などの生体機能補助・代行機器が約41%を占めており、当社の参入領域も成長分野として期待されています。



▶▶ 日本の医療機器の市場規模



参考：厚生労働省医政局「薬事工業生産動態統計」をもとに弊社が作成

より確かな安全性と効率性を実現する医療機器を開発しています。

▶ 抗がん剤調製・投与クローズドシステム「ネオシールド」開発

近年、がん患者数は増加傾向にあり、抗がん剤による化学療法が多く行われています。抗がん剤はがん細胞に対して有効である反面、正常な細胞にも影響を与えるため、抗がん剤を取り扱う医療従事者の方々は、薬剤との接触、気化した薬剤の吸入や周囲への飛散などによる健康被害のリスクに曝されるおそれがあります。

この度、当社は「プラネクタ」※などで培ってきた“クローズド（閉鎖系）”技術をベースに、抗がん剤調製・投与クローズドシステム「ネオシールド」を開発しました。薬剤の調製・投与時に、薬剤容器や投与用バッグに「ネオシールド」を接続して使

用することで、抗がん剤との接触リスクを低減するものです。また当製品はシンプルな構造と簡便な取り扱いの実現により、医療従事者の方々により安全な環境で医療に当たっていただけます。



抗がん剤調製・投与クローズドシステム「ネオシールド」

▶ 「JMSシリンジポンプ SP-520」販売開始

2014年8月、「JMSシリンジポンプ SP-520」を販売開始しました。シリンジポンプは、注射器（シリンジ）に充填された薬液を一定量、一定速度で患者さんにも正確に投与する医療機器です。一般病棟だけでなく、集中治療室や手術前後の麻酔管理が必要な患者さんに使用されています。

「SP-520」は、大型液晶画面の採用により視認性を向上させたほか、麻酔管理などで使用される特定のキット製品を自動認識する機能を標準装備しています。また、患者さんの容態に負担をかけることなく薬液の流量変更ができる新たな機能を備えています。より安全で効率性の高い機能を充実させることで、輸液管理を担う医療従事者の方々のストレスの軽減

と患者さんのQOL（クオリティ・オブ・ライフ）の向上に貢献してまいります。



「JMSシリンジポンプ SP-520」

▶「JMS人工心肺用モバイルシミュレータ」販売開始

当社は、「JMS人工心肺用モバイルシミュレータ」を公益財団法人ひろしま産業振興機構及び広島県内の教育機関・企業と協力し開発、2014年9月より販売開始しました。

当製品(以後、シミュレータ)は、心臓血管外科手術で使用される人工心肺の操作トレーニングを行うためのシステムです。心臓と肺の機能を代行する人工心肺の操作の安全性強化のため、近年、臨床工学技士を対象としたシミュレーション教育が盛んになっており、簡易的なシミュレーション・システムを望む声が多くなっています。そのため、当社は小型で容易に持ち運びができ、手術室など普段の設備で訓練が行えるシミュレータを開発しました。

当シミュレータは、患者さんの血行動態や心電図などを臨床に近い状態で再現できるため、臨床工学技士は基本操作から容態変化を想定した操作まで、さまざまなトレーニングが可能です。人工心肺を操作する臨床工学技士だけでなく、手術に携わる医療従事者の方々の知識向上にも役立ち、チーム医療として心臓外科手術の安全強化につながると期待されています。

人工心肺用モバイルシミュレータシステム構成



▶ 10年目を迎えた「緑の伝言プロジェクト」

広島市では被爆樹木に指定した約170本の木々の保存活動を行っています。その活動を支援する「緑の伝言プロジェクト」が開始から10年目を迎えました。

当社は2009年から当プロジェクトに参加し、被爆樹木を守

り伝える活動の一端を担ってきました。今後も参加企業とともに引き続き支援してまいります。

Green Greetings
from A-bombed Trees in Hiroshima



連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	前連結会計 年度 2014年3月31日現在	当第2四半期 連結会計期間 2014年9月30日現在
《資産の部》		
流動資産 —①	30,766	31,723
現金及び預金	1,997	3,345
受取手形及び売掛金	16,211	15,442
たな卸資産	11,606	12,130
その他	950	805
固定資産 —②	22,456	23,347
有形固定資産	18,156	18,667
無形固定資産	730	698
投資その他の資産	3,569	3,981
資産合計	53,222	55,070

科 目	前連結会計 年度 2014年3月31日現在	当第2四半期 連結会計期間 2014年9月30日現在
《負債の部》		
流動負債 —③	18,342	17,676
固定負債 —④	4,261	6,754
負債合計	22,603	24,430
《純資産の部》		
株主資本	30,003	29,880
その他の包括利益累計額	523	649
少数株主持分	92	109
純資産合計 —⑤	30,619	30,640
負債純資産合計	53,222	55,070

※2014年5月20日付で、ジェイ・エム・エス・ヘルスケア・フィリピン,INC.を設立したことにより、当社グループは、当社、子会社9社及び関連会社1社により事業を構成することとなりました。

POINT 解説

① 流動資産 [前連結会計年度に比べ
9億57百万円増加]

・現金及び預金が増加しました。

② 固定資産 [前連結会計年度に比べ
8億90百万円増加]

・有形固定資産が増加しました。

③ 流動負債 [前連結会計年度に比べ
6億65百万円減少]

・短期借入金が減少しました。

④ 固定負債 [前連結会計年度に比べ
24億93百万円増加]

・長期借入金が増加しました。

⑤ 純資産 [前連結会計年度に比べ
20百万円増加]

・為替換算調整勘定が増加しました。

(注)金額につきましては、百万円未満を切り捨てて記載しております。

■ 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 連結累計期間 2013年4月1日～ 2013年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 2014年4月1日～ 2014年9月30日
売上高 — 6	25,714	26,249
売上原価	19,147	19,804
売上総利益	6,567	6,444
販売費及び一般管理費	6,371	6,398
営業利益 — 7	196	46
営業外収益	345	198
営業外費用	98	101
経常利益	444	143
特別利益 — 8	2	168
特別損失	48	18
税金等調整前四半期純利益	398	292
法人税等	194	209
少数株主損益調整前四半期純利益	204	83
少数株主利益	3	10
四半期純利益	200	72

》》》 POINT 解説

6 売上高 [前年同四半期に比べ 5億34百万円増加]

- ・地域別では中国及びドイツでの販売、システム別では透析群の販売が増加しました。
- ・円安による為替換算の影響が有利に作用しました。

7 営業利益 [前年同四半期に比べ 1億50百万円減少]

- ・国内において人件費や労務費の低減を図ったものの、償還価格引き下げの影響を受けました。

8 特別利益 [前年同四半期に比べ 1億65百万円増加]

- ・投資有価証券の売却益を計上しました。

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 連結累計期間 2013年4月1日～ 2013年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 2014年4月1日～ 2014年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	647	1,149
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,575	△1,377
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,638	1,619
現金及び現金同等物に係る換算差額	89	△43
現金及び現金同等物の増減額 (減少：△)	△200	1,347
現金及び現金同等物の期首残高	4,152	1,995
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,952	3,343

》》》 POINT 解説

■ 営業活動によるキャッシュ・フロー [前年同四半期に比べ 5億2百万円増加]

- ・法人税等の支払額の減少によるものです。

■ 投資活動によるキャッシュ・フロー [前年同四半期に比べ 11億97百万円減少]

- ・有形固定資産の取得にかかる支出の減少によるものです。

■ 財務活動によるキャッシュ・フロー [前年同四半期に比べ 19百万円減少]

- ・借入金の収支差額によるものです。

(注)金額につきましては、百万円未満を切り捨てて記載しております。

■当社の概要

設 立	1965年(昭和40年)6月12日
資 本 金	7,411,014,445円
上場金融商品 取 引 所	東京証券取引所市場第一部 (証券コード:7702)
主要な事業内容	医療機器、医薬品の製造・販売 及び輸出並びに輸入
従 業 員 数	1,611人 (グループ総数 7,164人)

■役員

代表取締役社長	奥村 隆宏	監査役	池内 和朗
専務取締役	窪上 宏	執行役員	村藤 雅之
取締役	国富 純	執行役員	藤井 彰博
取締役	泉 和雄	執行役員	土井 博義
取締役	森川 重美	執行役員	中野 義実
取締役	栗根 康浩	執行役員	岩田 良夫
取締役	佐藤 雅文	執行役員	近藤 正樹
取締役	桂 龍司	執行役員	遠藤 正明
取締役	井口 明彦	執行役員	笠岡 正夫
監査役(常勤)	兼口 昇万	執行役員	石井 竹夫
監査役	林 原 康三	執行役員	柳 田 正吾
監査役	早稲田 幸雄		

※井口明彦氏は、社外取締役であります。

※林原康三氏、早稲田幸雄氏、池村和朗氏は、社外監査役であります。

株式概要

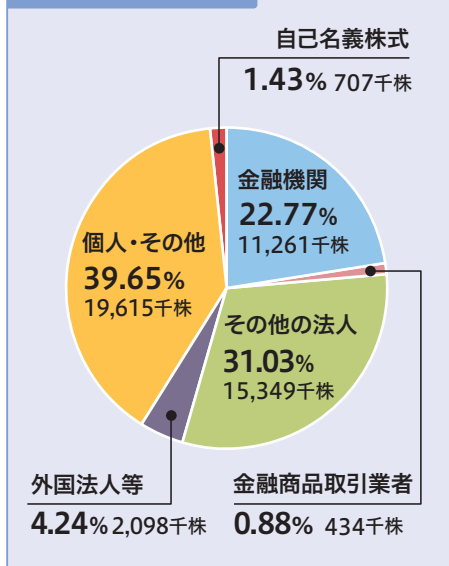
(2014年9月30日現在)

- 発行可能株式総数…100,000,000株
- 発行済株式総数……49,466,932株
(自己株式 707,031株を含む)
- 株主数 …………… 5,863名

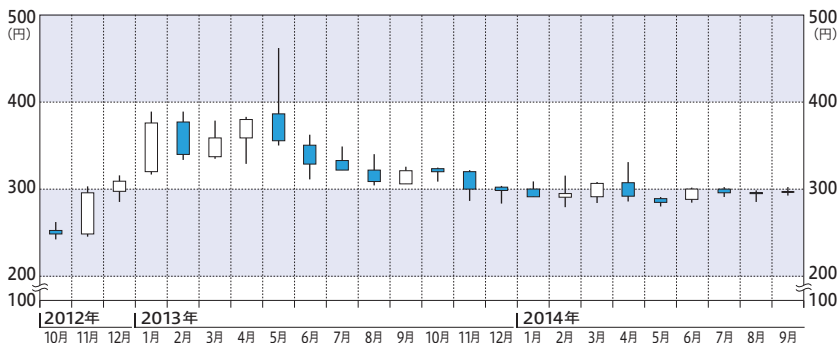
■大株主の状況(上位10名) (注)持株比率は、自己株式(707,031株)を控除して計算しております。

【株主名】	【持株数(千株)】	【持株比率(%)】
株式会社力ネカ	4,947	10.15
一般財団法人土谷記念医学振興基金	3,800	7.79
土谷佐枝子	2,015	4.13
社会福祉法人千寿会	2,000	4.10
株式会社広島銀行	1,790	3.67
第一生命保険株式会社	1,722	3.53
大下産業株式会社	1,142	2.34
JMS共栄会	935	1.92
西川ゴム工業株式会社	760	1.56
株式会社もみじ銀行	732	1.50

所有者別分布状況



■株価推移



海外ネットワーク

子会社

- ① 株式会社 韓国メディカル・サプライ
医療機器の製造・販売
- ② ジェイ・エム・エス・シンガポールPTE. LTD.
医療機器・医薬品の製造・販売
<http://www.jmss.com.sg/>
- ③ 大連ジェイ・エム・エス医療器具 有限公司
医療機器の製造・販売
<http://www.jmsdl.com/>
- ④ ジェイ・エム・エス・ノース・アメリカ・コーポレーション
医療機器の販売
<http://www.jmsna.net/>
- ⑤ バイオニック・メディツィンテクニックGmbH
医療機器・医薬品の販売
<http://www.bionic-jms.com/>
- ⑥ PT. ジェイ・エム・エス・バタム
医療機器の製造
- ⑦ ジェイ・エム・エス・ヘルスケア・フィリピン, INC.
医療機器の製造
※2016年春 操業開始(予定)



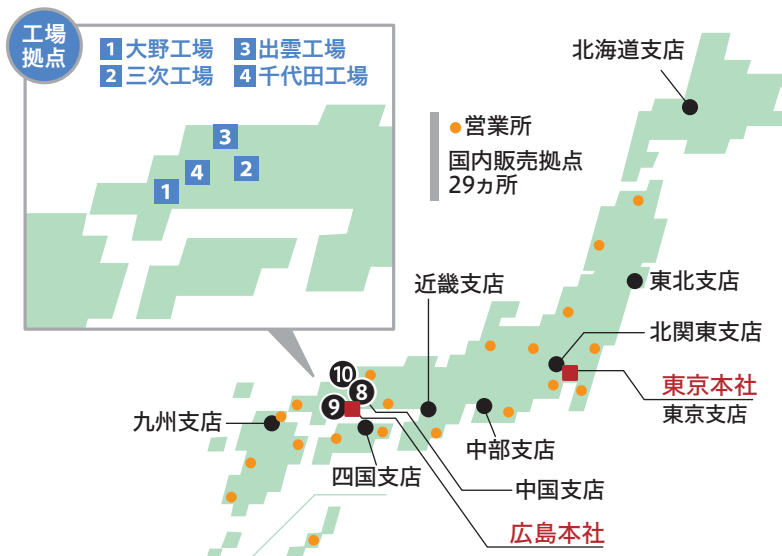
国内ネットワーク

子会社

- ⑧ ジェイ・エム・エス・サービス 株式会社
医療機器の修理等
- ⑨ 株式会社 大野
業務請負業

関連会社

- ⑩ 株式会社 ジェイ・オー・ファーマ
医薬品の製造・販売
<http://www.jo-pharma.co.jp/>



株主メモ 証券コード: 7702

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部
〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
Tel.0120-094-777(通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部

公告の方法 電子公告とする。
(<http://www.jms.cc/ir/denshi.html>)
ただし、事故その他やむを得ない事由によって
電子公告による公告をすることができない
場合は、日本経済新聞に掲載して行う。

ご注意

- 1.株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



JMS WEBサイトのご案内

当社の経営方針から主な製品、研究開発、IR、腹膜透析等の医療情報まで、多彩な情報を掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

▶▶▶ <http://www.jms.cc/> 株式会社JMS 検索



株式会社 JMS

広島本社 〒730-8652 広島市中区加古町12番17号
TEL 082-243-5844 FAX 082-243-5997

東京本社 〒140-0013 東京都品川区南大井一丁目13番5号 新南大井ビル
TEL 03-6404-0600 FAX 03-6404-0610

ホームページ <http://www.jms.cc/>

【表紙デザイン】

テーマ「光り輝く命。」



自然の美しさ、命の大切さを感じながら充実した毎日を生きる人をイメージ。虹や青い鳥のモチーフは希望や幸せを願うメッセージを込めている。命を輝かせながら生きる人々を医療を通じて支える、JMSの姿勢を表現しております。

UD FONT

見やすいユニバーサルフォントを採用しています。